



### 感じるモノづくりのパートナーを目指して

～多様な表面処理ニーズにお応えします～

滋賀県大津市の納谷塗装工業株式会社は1947年に創業、ミシン塗装からはじまり洗濯機・ポンプ部品・自動



代表取締役会長 納谷 宏之

琵琶湖を有する滋賀の一企業として、先ず大気汚染の低減のため、VOC（揮発性有機化合物）排出量の低減を目指し、2020年度中の粉体塗装の導入を進めて参ります。

また、人材育成と持続的な成長を目指し、教育研修の更なる強化に取り組んで参ります。

車部品・事務機などの産業資材から仏具部品・食品機器など70年の間にさまざまな商品と向き合って参りました。

買う側の立場に立ったものづくりをモットーにお客様に喜んで頂ける【Q（品質）C（価格）D（納期）】プラス、その先にある何か提供出来ることを目指し、技術の研鑽と新しい塗装情報の収集に努めるとともに、多様な表面処理をお届けして参りたいと考えております。

どうぞよろしくお願いたします。



## 1 環境方針にSDGsの理念を反映



社屋周辺の草刈りや清掃を実施

私たちは事業活動から生じる環境への影響に配慮し、対応していくことを社会的責務と認識し、当社独自の「環境方針」を定めております。2004年にはISO14001を取得し、要求事項に則った環境マネジメントシステムを構築すると共に、具体的な目的・目標を設定し、定期的な見直しを行なって継続的な改善に努めています。SDGsにつきましても、この取り組みの延長線上の課題として位置付け、当社が制定する環境マニュアルの全文に落とし込み、従業員の意識醸成や環境管理システムの強化などを図っています。また、地域社会との共存を目指し、琵琶湖一斉清掃への参加や草刈りといった環境活動にも継続して取り組んでおります。



## 2 VOC排出量の低減

当社では溶剤塗装が95%以上を占めており、塗装工程では有機溶剤（溶剤塗料・シンナー）を用いています。有機溶剤は大気汚染の原因となるVOCを排出するため、2025年度には2020年度比で有機溶剤の使用量を15%削減する目標を設定しています。そのための3つの取り組みとして、1つめは購入品在庫管理の厳格化によるシンナー・塗料の使用量・保管量の削減。2つめは2021年から環境負荷の少ない粉体塗装を導入し、製造ラインの移行を進めると共にお客様に勧奨する営業活動を実施。3つめとして、生産管理システムを導入し、実績データに基づいた購入量の削減。これらの具体的な目標設定と活動により、VOC排出量の低減を目指してまいります。



溶剤塗装から粉体塗装への転換



## 3 焼付塗料の低温化によるCO2削減

CO2削減の取り組みとして、低温化タイプの塗料導入に着手しました。焼付工程の際に用いるガスの使用量を削減することで、CO2排出量を削減し、環境負荷の軽減に寄与してまいります。

私たちは、低温化タイプの塗料導入など環境に優しい塗装を含め、お客様に対して最善で最適な提案ができるよう、塗料メーカーと連携して最新の塗装手法や塗料について日々情報収集に努めております。

自動機ラインでの海外実習生の補正塗装



## 4 働く人の多様性に応じて、均等な教育の機会を

2022年から、当社で働くベトナム人従業員に対して、JCLより通訳を派遣いただき母国語での研修を実施しています。さらにDXの促進を図るため、生産改善に取り組む社員プロジェクトを立ち上げ、中小機構の支援を受けて毎月約2回の教育・訓練も行っています。従来から私たちは「教育・訓練・研修」に注力しており、生産管理について外部講師を招いてのグループディスカッションによる実践的な全社研修を年4回実施。2019年にはコミュニケーション力のスキルアップを図る「ネクストリーダーチャレンジ研修」を開始し、現場監督者の養成に取り組んでいます。



通訳参加によるベトナム語での研修 / 講師：株式会社学匠



専門業者の方を招きベーパー研ぎ講習を実施



## 5 技能を伝承・評価し、働きがいを創出

当社では塗装という特殊技能の伝承にも注力しています。2022年に生産管理部を新設し、個々が有する技能を映像として記録し、そのアーカイブのデータベース化に着手。技能の保存と共に、次世代の教材として用いることで、技術の伝承を目指します。従来は現場の作業を見聞きして伝えられてきた技術を、デジタル化によって作業の平準化を促進し、より多くの人に技能修得の機会を提供することは、職人の人材不足解消にもつながると考えています。併せて同年より、塗装技能に関する社内検定をスタート。私たちが「良い塗装」の定義を決め、3カ月ごとに検定を行っています。検定試験に合格し、現場での実践で不具合が多くなければ、職能給の昇給に反映。今後は塗装だけでなく、検査や研ぎといった技能への拡充も検討しています。年齢や経験などを問わず挑戦できる環境を整備し、従業員の働きがいを創出・向上してまいります。



塗装技能検定